

# 布良で誕生した名画を考える

館山で 27日 青木繁《海の幸》フォーラム

明治期の洋画家、青木繁の代表作「海の幸」誕生の聖地として館山市布良に残る小谷家住宅の保存運動に取り組み、「青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会（嶋田博信会長）が27日、南

総文化ホールに関係者を迎え、「青木繁《海の幸》フォーラムを開催する。基調講演やパネルディスカッションをおして、明治の漁村で誕生した名作「海の幸」を考える。

青木繁が布良を訪れて今年で110年を迎える。同会の地道な活動により、その節目の年に小谷家住宅の修復工事も始まり、2年間の改修が終わる平成28年春には一般公開も予定されている。とはいえ、保存費用はまだ目標に達せず、引

き続き支援を呼びかけるとともに、青木繁の力を借りて館山の地域ブランドに磨きをかけよう、とフォーラムを企画した。フォーラムは午後1時半から小ホールで、第1

部は、海の幸を所蔵する福岡県久留米市の石橋美術館の森山秀子学芸課長が「青木繁を通してみる文学と美術の交流」をテーマに基調講演。第2部では、小谷家当主の小谷福哲さん、「海の幸」会理事で女子美術大学の吉武研司教授、労働大臣認定カラスキャナー1級技能士で「海の幸」複製画を制作した島田吉廣

さん、NPO法人安房文化遺産フォーラム代表の愛沢伸雄さん、同事務局長の池田恵美子さんがパネリストとして登壇。「明治の漁村・富崎から《海の幸》誕生を探る」をテーマにディスカッションする。参加費無料（資料代300円）で、多くの来場を呼びかけている。

房日新聞 2014.7.16

今年で110年を迎える。同会の地道な活動により、その節目の年に小谷家住宅の修復工事も始まり、2年間の改修が終わる平成28年春には一般公開も予定されている。とはいえ、保存費用はまだ目標に達せず、引

青木繁《海の幸》フォーラム

平成28年 7/27 (日)

会場 千葉県南総文化ホール小ホール  
時間 13:30~16:00 定員 300名  
参加費無料 資料代300円

【青木繁を通してみる文学と美術の交流】  
森山 秀子 氏 (石橋美術館学芸課長)

【明治の漁村・富崎から《海の幸》誕生を探る】  
小谷 福哲 氏 (小谷家当主)  
吉武 研司 氏 (NPO法人労働大臣認定カラスキャナー1級技能士・労働大臣認定カラスキャナー)  
島田 吉廣 氏 (労働大臣認定カラスキャナー1級技能士・複製画制作家)  
池田 恵美子 氏 (NPO法人安房文化遺産フォーラム事務局長)

※小谷家住宅の公開見学日※  
7月28日(土) 10:00~15:00  
8月23日(土) 10:00~15:00  
8月24日(日) 10:00~15:00

※青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会  
〒297-0102 千葉県館山市布良1-1-1 小谷家住宅  
TEL:0439-22-1111 FAX:0439-22-1112

事務局：NPO法人安房文化遺産フォーラム  
TEL:0439-22-1111 FAX:0439-22-1112

フォーラムのPRチラシ

また、このフォーラムに続いて8月5日から、渚の博物館と館山市コミュニティセンターで、青木繁「海の幸」オマージュ展が開催される。銀座・京都・福岡・田園調布と並んで館山展として開かれるもので、著名な美術家の作品が一堂に会